

としはる通信

2010. 6

No.34

編集、発行
川村俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10

TEL75-0928

E-Mail

t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



そこまで考えなかったが、婚活支援の必要性を認識している。組織を立ち上げ、先行する市町村の事例を参考に方向性を出していきたい。

ごあいさつ

気温が激しく変動する今年もようやく梅雨の季節を迎え、田植え後の稲も青々と育ってきました。

暑さとともに食中毒の季節でもあります。ご自愛され、今年の夏をすがすがしく乗り切ってください。することを祈念いたします。

さて、6月2日から4日までの3日間、平成22年第2回山北町議会定例会が開催されました。主要議題は平成22年度一般会計補正予算の審議でした。

いづれ議会だよりで詳しく報告されますが、速報としていつものようにお知らせしてまいります。ご一読いただいてご意見などお寄せいただきますようお願い申し上げます。



川村としはる
(俊治)

一般質問

定住対策のさらなる充実を

質問 定住対策室を設け、人口増に取り組んでいるが、ここ数年間の人口の推移はどうか。

答弁 過去5年間の出生数の平均が57人、死亡数の平均は147人で、転出を含めると年間170人程度の人口減少です。

質問 将来フレーム、平成26年度に人口14,000人とする具体的な計画はあるか。

答弁 土地利用計画に計画がある。直近には山北駅北側の住宅計画を進める。

質問 山北町では持ち家率86%で神奈川県平均の57%を上回る。町営住宅の需要をどのように見ているか。

答弁 低所得者用100戸、中所得者用100戸を計画しているが、若干遅れているのでスピードを上げる。

質問 民間住宅を誘導するため

にはインフラの整備が必要ではないか。東山北駅周辺の整備計画を具体化してはどうか。

答弁 その必要性は認識しており、取り組んでいきたい。

質問 今、具体的な計画がなければ平成26年度の実現は難しくないか。例えば平山工業団地、トオカツフーズは何年かかったか。

答弁 平山は平成14年に計画、平成16年工事着工で本年度成約した。トオカツフーズは平成16年から話があり、18年に土地取得22年に竣工した。

質問 トオカツフーズは税制などで優遇しているが、従業員が山北に住んでいない。

答弁 受け皿を調整したが大家が見つからなかった。時間も足りなかった。

質問 未婚者が増えている。生涯未婚率は男性15%、女性7%を超えている。結婚活動を支援する施策が必要ではないか。

答弁 定住対策を策定する時は

人口増の具体的な計画を

山北町では子育て支援策として、医療費の無償化、紙おむつの支給など施策を実施していますが、前提となる出生数が低迷しています。一方未婚率は男女各年齢層で1970年後半から急上昇しており、2005年では生涯未婚率が男性は15%、女性は7%を超えています。(国勢調査のデータから)

25〜34歳の独身者の結婚しない最大の理由は「適当な相手にめぐり合わない」となっています。

このような観点から、一部の自治体では婚活応援課などの組織をつくり、行政が出会いの場を提供する支援を行っています。行政が実施することにより、安心感があり相談しやすいといわれています。

町営住宅の整備や民間の住宅建設誘導と合わせて、独身者に出会いの場を提供する新しい試みに着手してはどうかと考えます。町もその必要性を認識し、前向きな答弁がありました。

消防ポンプ車を更新

第15分団

毎年老朽化した消防ポンプ車の更新をしていますが、本年度は第15分団の小型動力ポンプ付積載車が更新されます。

指名競争入札の結果、有限会社田中モーターズ(山北町山市場、代表取締役 田中博幸氏)が落札しました。

契約金額は966万円で、納期は平成23年1月31日です。

議会の議決が必要な動産の取得として提案され、原案通り可決しました。

土佐屋敷農道整備工事

岸地区農道

平成22年度中山間地域総合整備事業として、土佐屋敷農道、延長365メートルが整備されます。

指名競争入札の結果、金子建設株式会社(山北町岸、代表取締役金子た多子氏)が落札しました。

契約金額は7696万5000円、工期は平成23年3月25日です。議会の議決が必要な工事請負契約として提案され、原案通り可決しました。



工事中の土佐屋敷農道

県内14町村の基幹系

情報システムを共同化

現在の情報システムは各市町村がそれぞれコンピュータ等の機器や設備を持ち、個別にソフトを開発・導入して運用しています。このため、各市町村の機器のリース料が高額になっており、山北町では年間約1億円かかっています。また、法改正や制度設計の変更によるシステムの改修も市町村が個別に対応しており、費用の負担感が高まっています。

今回、県内の14町村が情報システムを共同化することにより、システムの運用・改修・開発における負荷軽減、業務処理の標準化、

安全性の向上を目指します。共同化においては、高速の情報通信ネットワークや民間のデータセンターを活用します。また、大量の印刷・発送業務についても大規模化による効率化・負荷軽減ができるよう専門業者に委託します。

共同化の対象は基幹系である住民記録、印鑑登録、選挙、国民年金、住民税・法人税等の税金関係で、山北町の場合は機器のリース料約5000万円分が該当します。

共同化へは第1次グループ7町村が平成23年10月から移行します。山北町は第2グループで平成24年度に移行、平成28年度に全町村の移行が完了する予定です。

以上は6月4日の全員協議会の席上、町から説明がありました。

県立つぶらの公園の概要

すでに計画されている県立つぶらの公園(山北町都夫良野地内)の第1期工事計画の概要が発表されました。

公園の種別は広域公園で都市計画決定面積105.9ヘクタールのうち18.3ヘクタールが第1期工事として整備されます。

平成22年度から着工し、概ね5

年をかけて整備して平成27年度の開園を目指します。

公園は拠点となる「野外活動拠点ゾーン」、自然とふれあう「ふれあいゾーン」、「散策ゾーン」、駐車場や管理話所の「エントランスゾーン」から構成されます。

秦野峠林道を視察

松田町寄から玄倉を結ぶ秦野峠林道と犬越路トンネルを議会で視察しました。

秦野峠林道は「林業振興型」林道で一般車の通行はできません。時折、崩落などが発生しているようです。

犬越路林道は津久井へ通じる道路ですが、崩落の危険が大きくなり通行禁止になっています。



秦野峠林道現地視察(落平橋付近にて)

任期満了に伴う町長選挙、及び議員の辞職による補欠選挙が7月6日告示、7月11日投票で行われます。当日は参議院議員選挙も行われます。棄権することなく投票しましょう。